ＰＥＡＫＳ　２０１５年６月号　掲載

山の部活潜入調査

部員さん、こんにちは!

数ある部活のなかでも、山に登ることを主眼とした部活。
そんな「山の部活」で汗を流す部員さんたちを直撃取材!
彼らの「素」の姿を浮き彫りにしてみなさんに紹介しちゃいます。

第38回 東京都市大学ワンダーフォーゲル部

創立 昭和30年(1955年)　部員数 20名

(3列左から) 佐野貴彦くん／3年／高校時代は水泳部。現在その面影はない。松永峻汰くん／3年／ムードメーカー。荒牧遼くん／3年／冷静沈着で穏やか。斎藤広海くん／3年／下山中に歌いだす。松平啓佑くん／3年／マシンガントークができる。福島佑樹くん／4年／とにかく頭がキレる。片井雄也くん／3年/阪神ファン。野沢優太くん／4年／厳しいが愛情がある。岩瀬佳久くん／3年／料理が上手い。(2列左から) 新井山信くん／2年／熱い男。小林淳哉くん／2年／知識量が異常。石関翔太くん／1年/落ち着いてテキパキしている。荒井貴文くん／1年/建築学科。元ラグビー部。佐々木啓介くん／1年／とてもゆったりしている。杉江真一郎くん／1年／練習では泥だらけ。岩竹涼実さん／3年／最近一人登山に挑戦中。(1列目左から) 小代圭祐くん／2年／登山に覚醒中。松本慧くん／2年／ワンゲル一のスタミナの持ち主。聖生航大くん／2年／装備の管理担当。松岡拓志くん／3年／野球と旅が大好き。岩田竜輝くん／2年／外見も中身もカピバラに似ている。松島桂嗣くん／3年／責任感が強く必ず仕事をこなす。三沢康平くん／2年／ジムで体を鍛えている

取材日は、新1年生が体験入部をしている日だった。その日参加した5名は、大学から山登りを始めようとしている人がほとんどだったが、現部員も初心者だった者が多い。冬の間山登りはせず、島や麓での活動をしていることもあり、初心者でも気軽に入りやすいのだ。週に2回、水曜と土曜に活動があるが、厳しくトレーニングするというよりも体力作りが主で、川沿いをランニングしたり、サッカーをして〝楽しむ〟ことをメインにしている。

「うちの部は、そこまで体育会系じゃないですね。厳しいルールもとくにありません。何回か合宿はありますが、基本的に個人の活動に任せています」と部長の松岡くん。月に何度登ると決められているわけではないが、毎週末誰かは山へ行っているらしく、部内には誘いの連絡が届く。個人活動といっても、先輩が積極的に後輩を山に誘ってくれるため、必然的に山初心者だった部員たちも経験を積むことができる。

「先輩が毎週のように山に連れて行ってくれたから、山を好きになれました。気軽に入れる環境だったので、僕たちも同じように後輩に接しています」その言葉どおり、2kmのランニングにバテてしまった1年生に対して「走り切ったことに意味がある! 根性あるよ」と声をかけてあげている松岡くん。決められたルールはないが、自分がうれしかったことを受け継ぐ心意気の良さによって、先輩後輩間には信頼関係が築かれていた。

ナイトラリーが恒例行事

7月の第一週に体育会に加入している全部活動が参加するナイトラリーを開催。キャンパスのある尾山台から江の島まで、ひと晩かけて走る。福島くんは一昨年、2位になった

新歓は体を動かすところから

新1年生を迎えての最初の活動は、テントの組み立て、サッカー、2kmのランニングだ。「サッカーは、パスを出すときに名前を呼ぶので覚えるきっかけにもなります。気軽に交流できるので定期的にやっていますね」と松岡くん

蓼科に部所有の山小屋あり

新歓合宿や夏合宿などで利用している。OBも自由に使えるので、山を登るときの拠点にする人も。古いながらしっかり整備されている

個人活動がメインでも、結集したときの団結力は高い!

先輩後輩のいい関係が築かれている都市大ワンゲル部は、OBとの交流も活発。長く愛されています。

部一のキン肉マン

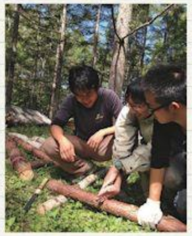
4年生の野沢くんは、部でいちばん山歴が長い。クライミングにも通っているだけあり、筋肉モリモリ! 部イチの力持ちでもある

OBとは年一で交流する

夏には、山小屋の整備と蓼科山に登るのが恒例。80歳後半のOBや子連れで参加する人も。最大で40～50人が集まる

春合宿は沖縄へ!

春合宿は3年生の行きたい場所に行くそうで、今回は渡嘉敷島へ。雨でのダイビングだったが、海の中は見事な景色だった



夏休みにはボランティア活動も

毎年、夏休み期間中に部所有の山小屋に滞在しながら近くにある「望月少年自然の家」でボランティア活動を行なっている。歩道の整備や草刈りなど、体力仕事がメイン

私たちの山活報告!

リーダー養成を目的とした秋合宿は、甲斐駒ヶ岳へ。昨年は合宿時の天候に恵まれなかったので、1年生にとっては初めての晴山&ご来光に。辛い山行ばかりだったため、やっと感動が得られた。「僕たちにとっては最後のリーダー養成合宿。これからは後輩たちがリーダーとなって部を治めていってほしいです」と松岡くん

今月の山の逸品

ワンゲル部オリジナルのユニフォーム。毎年作られていて、昨年は夏合宿で登った3つの山がデザインされている。左腕には、それぞれ好きな言葉を入れていて、大体の人が名前やあだ名のなか、山に対する思いなどを入れている人もいるそう

現在も登山を楽しむOB

OB会会長の
小林俊朗さん

OB会の会長を務め、積極的に部員とも交流をしている。標高5,025mのチベット四姑娘山群「大姑娘山」への登頂、ニセコ山群「雷電岳山」と菅平の「根子岳山」山頂からスキーで滑走した経験をもつ。所属当時はもちろん、現在も定期的に山に登り、山を愛している

■この記事・写真等はエイ出版社の許諾を得て転載しています。
無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

学校法人 五島育英会